

平成24年1月6日

海に漂うゴミや油を回収する 「美讃」が就航します！

□ 国土交通省四国地方整備局に新たに配備される海面清掃兼油回収船「美讃」の就航を記念する就航記念式典を執り行いますのでお知らせ致します。

1. 「美讃」就航記念式典について

- (1) 日 時 平成24年1月12日(木) 13時30分～14時20分
 - (2) 場 所 坂出市入船町1-5 (詳細は別紙参照)
 - (3) 式典参加者 地元国会議員、市町村長、海事関係機関等
 - (4) 式典内容 概要説明、命名者紹介、船員紹介、幼稚園児によるセレモニー等
- ※ 当日は、撮影が可能となっております。撮影を希望される場合は、1月10日(火) 14時まで、社名、人数を下記問い合わせ先までお申し込み願います。



試運転中の「美讃」(H23年11月下旬)

問い合わせ先

○四国地方整備局 高松港湾・空港整備事務所
担当：藤岡、中川
Tel:087-851-5522

海面清掃兼油回収船「美讃」の概要について

高松港湾・空港整備事務所に配備されている海面清掃兼油回収船「わしゅう」（194.77トン）は、昭和57年に建造され、瀬戸内海を航行する船舶の安全の確保と海域環境の保全に努めてまいりました。現在、建造後30年が経過し老朽化により平成23年12月で引退し、平成24年1月からは最新鋭の海面清掃兼油回収船にバトンタッチすることとなりました。

新しい海面清掃兼油回収船には様々な最新の機器を搭載し、より効率的な海面浮遊ごみの回収や油回収が可能となり、また海洋環境調査に必要な設備を搭載する等、今後、様々な場面での活躍が期待されています。

船名については、一般市民の皆様にも新しい海面清掃兼油回収船に親しんでいただくため広く船名を募集し、総数407件の応募の中から、海面浮遊ゴミの回収や油の回収による「美」、備「讃」瀬戸の海洋環境の保護・改善に向けた活躍を期待し命名された「美讃（びさん）」に決定しました。

新海面清掃兼油回収船は、平成23年1月7日に契約し、株式会社アイ・エイチ・アイ・アムテックにおいて建造、平成23年12月22日には完成し、坂出港を母港として就航することとなりましたので、就航を記念し、平成24年1月12日（木）「美讃」の係留施設がある坂出港内において就航記念式典及び、関係者へ船内の公開を行うものです。



海上航行中の「美讃」

■美讃の概要

「美讃」は船体中央にコンテナ式のゴミ回収装置を設けているほか、流木等を積み込む多関節クレーンを装備し、大小さまざまなゴミの回収ができるように設計されています。

また船体後部に設けられた油回収装置により流出した油の回収を敏速に行うことができます。さらに、水質調査を行い、海の環境を継続的に確認することができます。

◆ゴミ回収

海面に浮遊するゴミは、「美讃」が潮目に漂っているゴミに向かって進むことで、双胴船の中央部の回収コンテナに回収されます。また、流木などの大きなゴミは船体の左右に設置した多関節クレーンで回収します。

◆油回収

海難事故や過失による油流出などによって海面に漂う油を回収します。油回収装置で油水を分離し、低粘度（軽油）から高粘度（重油）までのあらゆる状態の油に対処することができます。

■担務海域

備讃瀬戸全域及び備後灘、燧灘、播磨灘の一部海域



担務海域

■主要目

船種	:	海面清掃兼油回収船
船型	:	双胴型
全長	:	33.50m
全幅	:	11.6m
深さ（型）	:	4.2m
最大喫水	:	2.64m
総トン数	:	196トン
最大速力	:	約14ノット
航行区域	:	沿海
機関出力	:	736kW(1000PS)×2基
推進器	:	4翼可変ピッチプロペラ×2基
油回収能力	:	1時間に最大30m ³ （ドラム缶約150本分）
ゴミコンテナ	:	50m ³ （12.5m ³ ×4個）

「美讃」就航記念式典会場案内図

海面清掃兼油回収船「美讃」就航記念式典のご案内

住所 坂出市入船町1-5



●交通アクセス
・JR予讃線坂出駅下車、徒歩20分
・瀬戸中央自動車道「坂出IC」より約10分



◆お車でお越しの方は、式典会場隣に駐車場を用意しておりますのでご利用ください。